

普及活動情勢報告（令和7年2月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

特産品の「ポンカン」をPR ～東洋町ポンカン振興対策協議会の販促活動～



ひろめ市場での販促活動

1月18日「とさのさと」・19日「ひろめ市場」で、生産者・JAなど関係機関で構成する東洋町ポンカン振興対策協議会は販促活動を行いました。

農業改良普及課室戸支所は、企画や運営に携わり、当日は他のメンバーとともに店舗入り口で消費者に声かけして、試食や袋詰め等の販売活動を支援しました。

試食した人からは「甘い！」「味が濃くておいしい！」と好評で、町のポンカンの良さがPRされました。また、参加した生産者からは「売り上げもよく、お客さんの反応が知れて良かった」と話していました。

室戸支所は、来年以降もこの取り組みが定着するよう支援します。

オクラの増収に向けて ～中芸集出荷場オクラ部会準備会～



オクラ初期管理を説明する
普及指導員

1月27・28日に安田町、北川村、奈半利町で次作に向けたオクラ部会準備会（4ヶ所）を開催し、生産者23名が参加しました。

JAは耕耘から追肥開始までの作業や管理について説明し、農業改良普及課は増収のための初期管理ポイントやデータ駆動の実証結果について説明しました。

生産者からは「トンネルの二重被覆はどのようにするのか」「1株あたり何本生えたら良いのか」などの質問が出され、地域の栽培では3～4本が適切であることを伝えました。

今後、農業改良普及課はオクラの増収に向け、栽培環境データの収集や栽培管理へのアドバイスを行っていきます。

いきいき輝け！～第16回安芸・室戸地区農村女性リーダーつどい開催～



講演を熱心に聴講する
参加者ら

1月30日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会は田野町ふれあいセンターで「第16回安芸・室戸地区農村女性リーダーつどい」を開催し、女性農業者や関係機関など約80名が参加しました。

女性リーダーが企画・運営し、高知大学地域協働学部の佐藤氏の講演やリーダーの活動報告を行いました。農業改良普及課は開催に向けた準備や円滑な運営を支援しました。

参加した女性農業者からは「参加型の講演で新鮮だった」「色々な世代の想いや体験談を知れて、自分だけでは無いと心強かった」等の声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も女性リーダーのさらなる活躍に向けた支援を行っていきます。

県内一丸で振興するぞ！ ～県域高知ナス部会～



現地検討会で説明する
普及指導員

2月6日、県域高知ナス部会は安芸地区で現地検討会と勉強会を開催し、県内の生産者43人が参加しました。

農業改良普及課は、開催に向けた準備段階からJAと協力して取り組み内容の検討や現地ほ場の選定などを行いました。現地検討会では、側枝を切り込む時期や程度、温度管理などについて生産者同士で話し合う様子が見られました。また、勉強会では県内各地区の現状と課題について情報交換しました。生産者からも活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して、高知ナスの振興につながるよう支援していきます。

